

市民医療センター長・事務部長目標

- 市民医療センター長 野口 友之(のぐち ともゆき) ● 市民医療センター事務部長 根本 壽嗣(ねもと としつぐ)



● 市民医療センターの仕事

市民医療センターは、公的医療機関として地域に必要な医療の確保と保健医療の向上及び健康維持・増進を図るため、内科の入院・外来診療、小児科の外来診療・急患診療及び人間ドックをはじめとする健診事業を中心とした病院事業を運営しています。

● 市民医療センターの平成29年度の目標

市民医療センターの目標は、市民の皆さまが、住み慣れた地域でいつまでも暮らすことができるよう、市内の医療機関や地域包括支援センターなどと連携強化を図り、地域完結型の医療提供体制に寄与するとともに、安心して子育てができるよう、小児医療体制の安定的な維持に努め、地域に根ざした病院として、市民の皆さまから信頼される医療機関を目指していきます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の数値目標	年度末の目標達成度合
1	地域医療の貢献と在宅医療の支援	埼玉県地域医療構想に示される地域の医療環境の変化に合わせ、関連機関との調整連携を図り、地域医療への貢献や在宅医療の支援について、その役割を果たします。	市内の医療機関や地域包括支援センターなどとの連携強化を進め、在宅療養や介護施設からの患者の入院から退院まで円滑に行える地域連携(地域完結型医療)体制を推進します。	市内の医療機関などへの訪問や地域交流会により、地域連携体制の強化を図りました。 紹介入院患者数 332人 (31人増)
2	小児医療体制の充実	安心して子育てができる医療環境を整備するため、市内の医療機関などとの調整、連携を進め、切れ目のない小児初期救急医療を提供できる体制を維持します。	所沢市域全体で、365日、昼間、夜間、深夜の全ての時間帯での小児初期救急医療体制を維持します。	市民医療センターと関係医療機関が連携して、所沢市域全体、365日、全ての時間帯で、小児初期救急医療体制を維持しました。
3	経営状況の改善	第三次所沢市市民医療センター改革プラン(平成29年度～平成32年度)の推進を図り、地域の中で必要とされる役割を果たしながら、病院事業の経営改善に取り組みます。	第三次所沢市市民医療センター改革プランに掲げた推進項目の取り組みを進めるとともに、所沢市市民医療センター運営委員会における進捗状況評価を踏まえ、経営指標に係る数値目標の達成を目指します。	地域包括ケア病床の導入に向けた環境整備や人間ドックに内視鏡検査を導入するなど、推進項目の取り組みを進めました。